

ヨウ化カリウム「ヤマゼン」 添付文書改訂 新旧対照表

改訂内容（下記の通り）

ヨウ化カリウム「ヤマゼン」

改訂後（下線：変更箇所）			改訂前（下線：削除箇所）																				
<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1 省略</p> <p>2.2 <u>エプレレノン（高血圧症）、エサキセレノン</u>を投与中の患者 [10.1 参照]</p> <p>2.3 省略（項番号のみ変更）</p>			<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1 本剤の成分又はヨウ素に対し、過敏症の既往歴のある者</p> <p>2.2 省略</p>																				
<p>10. 相互作用</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>エプレレノン（高血圧症）</u> <u>セララ</u> <u>エサキセレノン</u> <u>ミネプロ</u> <u>(2.2 参照)</u></td> <td><u>血清カリウム値が上昇する</u> <u>おそれがある。</u></td> <td><u>併用によりカリウム貯留作</u> <u>用が増強するおそれがある。</u></td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	<u>エプレレノン（高血圧症）</u> <u>セララ</u> <u>エサキセレノン</u> <u>ミネプロ</u> <u>(2.2 参照)</u>	<u>血清カリウム値が上昇する</u> <u>おそれがある。</u>	<u>併用によりカリウム貯留作</u> <u>用が増強するおそれがある。</u>	<p>10. 相互作用</p> <p>← 新設</p>														
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																					
<u>エプレレノン（高血圧症）</u> <u>セララ</u> <u>エサキセレノン</u> <u>ミネプロ</u> <u>(2.2 参照)</u>	<u>血清カリウム値が上昇する</u> <u>おそれがある。</u>	<u>併用によりカリウム貯留作</u> <u>用が増強するおそれがある。</u>																					
<p>10.2 併用注意（併用に注意すること）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>エプレレノン（慢性心不全）</u> <u>フィネレノン</u></td> <td><u>血清カリウム値が上昇する</u> <u>可能性があるので、血清カリ</u> <u>ウム値を定期的に観察する</u> <u>など十分に注意すること。</u></td> <td><u>カリウム貯留作用が増強す</u> <u>るおそれがある。</u></td> </tr> <tr> <td>カリウム含有製剤 塩化カリウム グルコン酸カリウム</td> <td>高カリウム血症を起こすこ とがあるので、血清カリウム 濃度を測定するなど慎重に</td> <td>相加的に作用し、高カリウム 血症をきたす可能性がある。</td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	<u>エプレレノン（慢性心不全）</u> <u>フィネレノン</u>	<u>血清カリウム値が上昇する</u> <u>可能性があるので、血清カリ</u> <u>ウム値を定期的に観察する</u> <u>など十分に注意すること。</u>	<u>カリウム貯留作用が増強す</u> <u>るおそれがある。</u>	カリウム含有製剤 塩化カリウム グルコン酸カリウム	高カリウム血症を起こすこ とがあるので、血清カリウム 濃度を測定するなど慎重に	相加的に作用し、高カリウム 血症をきたす可能性がある。	<p>10.2 併用注意（併用に注意すること）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>← 新設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>カリウム含有製剤 塩化カリウム グルコン酸カリウム</td> <td>高カリウム血症を起こすこ とがあるので、血清カリウム 濃度を測定するなど慎重に</td> <td>相加的に作用し、高カリウム 血症をきたす可能性がある。</td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	← 新設			カリウム含有製剤 塩化カリウム グルコン酸カリウム	高カリウム血症を起こすこ とがあるので、血清カリウム 濃度を測定するなど慎重に	相加的に作用し、高カリウム 血症をきたす可能性がある。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																					
<u>エプレレノン（慢性心不全）</u> <u>フィネレノン</u>	<u>血清カリウム値が上昇する</u> <u>可能性があるので、血清カリ</u> <u>ウム値を定期的に観察する</u> <u>など十分に注意すること。</u>	<u>カリウム貯留作用が増強す</u> <u>るおそれがある。</u>																					
カリウム含有製剤 塩化カリウム グルコン酸カリウム	高カリウム血症を起こすこ とがあるので、血清カリウム 濃度を測定するなど慎重に	相加的に作用し、高カリウム 血症をきたす可能性がある。																					
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																					
← 新設																							
カリウム含有製剤 塩化カリウム グルコン酸カリウム	高カリウム血症を起こすこ とがあるので、血清カリウム 濃度を測定するなど慎重に	相加的に作用し、高カリウム 血症をきたす可能性がある。																					

アスパラギン酸カリウム カリウム保持性利尿剤 スピロノラクトン トリアムテレン	投与すること。		アスパラギン酸カリウム カリウム保持性利尿剤 スピロノラクトン トリアムテレン <u>エプレレノン</u>	投与すること。	
省略 (変更なし)			省略		

今後のご使用に際しましては、ここにご案内致しました改訂内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。